

テーマ『私たち今、こんな活動しています！』

ガーナにて活動中の野尻さん／ 職種：理科教育



2016年11月7日に私の配属先のボルタ州ジャシカン市ジャシカン教員養成校にて理数科ワークショップを開催しました。教員養成校の生徒は日本でいうところの「文系」にあたる生徒が多く、理数科目が苦手。ということで、「理科や数学って本当は楽しい科目だったんだ！！」と理解してもらえるよう。実験やグループワーク中心のワークショップを企画しました。参加者は配属先の2年生の生徒約400名、講師はガーナ国理数科分科会に属するボランティア10名。

8個の教室に分かれ、午前は1時間×2コマの授業を受け、午後は午前中に受けた授業についての振り返りのディスカッションを1時間行いました。どの授業もボランティアの思いのこもった授業で大盛況でした。

ブラジルにて活動中の中野さん／ 職種：日系日本語学校教師



ブラジルのパラナ州ロアンダ市という人口2万人ほどの町の日本語学校で、成人や子どもを対象に日本語の授業や文化紹介を、また授業のほかに高齢者を対象とした体操やレクリエーションなども行っています。

写真は、折り紙でピカチュウを作成した様子です。ブラジルの子どもたちにもピカチュウは大人気！

カンボジアにて活動中の堂脇さん／ 職種：看護師

任地のシハヌークビル病院に配属され三か月経ちました。写真は病院のごみ拾いをしているところです。カンボジアはポイ捨てが多く、病院の敷地内にも空き缶やタバコの吸い殻、残飯が至るところに落ちていて、衛生に対する意識が低いのが現状です。患者さんが安心して療養するためには、衛生状態を整えることも看護師の役割の一つであると思ったので、1月からごみ拾いを始めてみました。今は、看護師長さんや看護学生、清掃スタッフも協力してくれ週一回のごみ拾い活動になっています。



モンゴルにて活動中の前田さん／ 職種：保健師



モンゴルは入院期間が10日間と決められており、回復期病院（リハビリ専門の病院）がありません。アンケートを行ったところ、脳卒中後の患者さんが家に引きこもりがちになったり、社会との関わりが少なくなったという結果が得られました。そこで、同じ任地の理学療法士、看護師とともに、脳卒中後の患者さんと家族を対象としたデイケアサービスのようことを地区の診療所をまわって実施しています。デイケアでは血圧測定、脳卒中再発予防のミニセミナー、リハビリ体操などを実施しています。写真はその一コマです。この活動の他に、肥満予防のセミナー、学校で手洗い・禁煙指導、糖尿病の診療の調査なども行っています。

エチオピアにて活動中の黒田さん／ 職種：バレーボール



エチオピアではバレーボールは屋外スポーツの為、練習場は全て屋外に設置されており、ネットやポール、コートラインが全て揃っているコートは1つ也没有せん。この写真の練習場にはコートラインが無いので赴任前、選手達はコートラインが無い状態で練習していました。

そこで、練習前には毎回ロープで長さを測りコートラインを描くように指導しました。

その様子を撮影したのがこの一枚です。

このように、バレーボールの技術を教える前にバレーボールの技術を教える環境を整えるところからスタートしています。

日本人が環境整備にこだわり過ぎているのか、エチオピア人が環境整備に関して無関心過ぎるのか、迷う事もありますが、選手達が安全で安心して集中出来る環境を少しずつですが選手自身で作って行けるようにサポートして行きたいと思います。

フィジーにて活動中の竹内さん／ 職種：高齢者介護



フィジーの高齢者施設で現地のスタッフと一緒にケアをしたり、介護予防や生活の楽しみのためのレクリエーションをしたりして活動しています。

写真は利用者さんとスタッフと一緒にレクリエーションの一つとして貼り絵をしているところです。

マダガスカルにて活動中の水野さん／ 職種：柔道

最近の主な活動は、4月のアフリカ選手権に向けてのナショナルチームのコーチングですが、ナショナルチームの合宿の合間に地方遠征をしています。癖の少ないチビっ子柔道家達にひたすら基礎を叩き込むのは遣り甲斐があります。技術指導に加えて柔道の教えなども積極的に語っています。



マダガスカルにて活動中の河本さん／ 職種：コミュニティ開発



マダガスカルの農村にて米の生産性向上や植林、生活改善に関わる活動をしています。雨季の今は、植林の時期。一本一本心を込めて植えました。

グアテマラにて活動中の山名さん／ 職種：野球

今、子供たちと一緒にブルペンを作っています。意外ときつい作業に子供たちは文句言いながら手伝ってくれています。あと4か月、自分が帰るまでに完成すればいいのですが…笑

